

2020 年 1 月 18 日（土）実施

伊丹市立伊丹小学校×SCIX スペースボール体験レポート



SCIX オリジナルのボールゲーム「スペースボール」。

例年、神戸市内にある地元の小学校を対象に体験プログラムを実施していますが、昨年のラグビーW杯日本大会での盛り上がりを受け、今回は神戸を飛び出し、伊丹の小学校にてスペースボールを体験してもらいました。

さらに、今回は子どもだけでなく保護者も一緒に体験するという初の試みも。

初めてのスペースボール体験は如何に!? その様子をレポートします！

8:30～9:00 集合！

阪神淡路大震災から 25 年を迎えた翌日、阪急伊丹駅から歩いてすぐの場所にある伊丹市立伊丹小学校にて SCIX スペースボール体験会が実施されました。

白壁に瓦屋根の校舎が実にシンボリックな、創立 148 年の歴史ある伊丹小学校。

少年野球の試合へ向かうと思しきメンバーに混じって、眠い目をこすりながら、スペースボール参加者らも続々学校に到着します。



9:00～9:15 コート設営&説明 DVD 鑑賞

SCIX メンバーが運動場でコート設営をする一方、参加者らは別室にて、スペースボールのルールをわかりやすくまとめた説明 DVD（SCIX 提供）を鑑賞します。



伊丹小学校では、保護者有志によるボランティアサークル・OYA-G 組（オヤジグミ）主導で「サタデースクール」として各種イベントを開催しているそうで、今回のスペースボール体験もその一環。



「かねてから子どもたちにラグビー体験させたいなあと思ってたんです。そしたら去年、ラグビーW杯が物凄い盛り上がったでしょ。やるなら今しかない！と思ってね。SCIXさんに相談させてもらったんです」と、ラグビー指導者をしている OYA-G 組メンバーの川中さん（写真右・左端）が、今回の経緯を語ってくれました。

9:20～ グラウンドにて SCIX メンバー紹介&進行説明

参加者らがグラウンドに集合し、SCIX メンバーとご対面！



OYA-G 組メンバーの川中さんより SCIX メンバーが紹介されます。この日は、SCIX ラグビークラブのコーチを務める武藤さん、高木さんに加え、昨年の SCIX ラグビークラブ女子チームキャプテンの徳永さんと、現役高校生の SCIX ラグビークラブ女子チームメンバー5 名が参加。

9:25～ チームに分かれて準備運動&練習

低学年 17 名、高学年 9 名、保護者 25 名が、低学年リーグ 4 チーム（A, B, C, E）、高学年リーグ 3 チーム（G, T, J）に分かれます（欠席者があったため一部急遽チーム編成を変更）。子どもとそ

の保護者混成のチームということで、子どもと大人と一緒にスペースボールをするというのは SCIX でも初。はてさてどうなるのでしょうか!?



W 杯参加チームのフラッグがプリントされたビブスを着用し、まずはチームに分かれての準備体操&練習!



改めてルール説明をしたり、ボール回しの練習をしたり、SCIX メンバーと一緒に行っていきます。



「まずボールに慣れてください！」と武藤コーチの声がグラウンドに響きます。



9:35～ キックオフ！

ラグビーボールを使い、ラグビーの楽しさを味わいつつも、ラグビーよりもルールが簡単&安心、安全ということで、小学校低学年でも楽しめるのがスペースボール。



早速やってみよう！ということで、練習もほどほどに試合開始！

3コートに分かれ、低学年リーグ2試合、高学年リーグ1試合を同時進行でリーグ戦スタート。
1試合7分、各コート様々な攻防が繰り広げられます。

ターンオーバーした地点から遠い方のゴールラインを目指して攻撃するので、その都度攻める方向が入れ替わる訳ですが、子どもも大人も、やっているうちにすぐにルールを習得した様子で、どんどん盛り上がりを見せていきます。

「パス！パス！」「走れ〜！」「次はあっちや〜！」などという声が、あちこちで飛び交います。



パスがうまく繋がり、ランで逃げ切りトライ！ W杯さながらの歓喜に沸くシーンも。



これまで何度となく SCIX のイベントでスペースボールを開催しているので、子どもたちが必死にパスをつなぎ、トライをあげて楽しむ姿はよく目にしていますが、大人と一緒に参加する様子を見て、むしろ子どもより熱くなっている大人たちの姿に、見ているこちらまでワクワク楽しい気分になしてもらいました。



俊足自慢のお父さんや、燃えたぎる闘志を秘めつつトライを狙うお母さん、「若い頃は足速かったんやけどなー」とばかりにやる気はあるが身体がついてこないお父さん…と悲喜こもごもの大人たちですが、7分間のゲームを終えると皆同じ。膝に手をつき、地べたに座り込む。まさに

「体力の限界」と言わんばかりの、出し切った感いっぱいの姿、最高です！



1 試合を終えるごとに数分間のインターバルをとり水分補給。休憩中、「かつこよかったよ〜！」とママ友に声をかける姿や、「こんなに走るって聞いてない。仕事してる方が楽やわ。帰ったら何もできへん、何もせえへんで（笑）」などというお母さん同士の面白い会話も聞かれました。



2 試合目では、ついに森田邦彦校長も参戦！ スーツ姿でパリッと決め、みんなの楽しんでいる様子を微笑ましく見守っていた校長先生ですが、「やってみたい！」と、ジャージに着替え、メンバーチェンジ。高学年チームに混ざって奮闘します。「校長先生！校長先生！」という声と共に楯円球が舞い、見事キャッチ。そのまま疾走する校長。とても60代とは思えないフットワークを見せ、さらに盛り上がります。



「死んでしまいそう」という試合後のコメントとは裏腹に、爽快感に満ちた校長の表情からも、楽しさが伝わってきます。聞くところによると、小学生時代にラグビーをかじったことがある

とか。スポーツ好きな森田校長、スペースボールが子どもたちの体づくりはもとより、教育に役立つと興味を持ってくれた様子。嬉しい限りです。



10:30～ リーグ戦終了・休憩

低学年チーム、高学年チームそれぞれ熱戦を終え、リーグ戦終了。



今回のスペースボール体験では、「チャレンジ3」と題して隠れテーマを掲げているようで、年代カテゴリーによるリーグ戦を通して、1つ目のチャレンジはクリア。この後のエキシビジョンマッチとして行われる、残る2つのチャレンジに子どもたちが挑戦します。



10:45～ エキシビジョンマッチ1 「お父さん&お母さんと対戦！」

まずは2つ目のチャレンジ、「お父さん&お母さんと対戦！」。



低学年の子どもたちと、その保護者らが対戦します。人数がグンと増えるので、コートサイズを広げて実施。パスを繋ぐか、ロングパスを用いるか、はたまた独走で逃げ切るか!?!? するとこ



ここで急遽、武藤コーチから低学年チームに特別ルールの提案。通常、ワンバウンドまで OK のスペースボールですが、ツーバウンド以上でも OK ということで低学年チームが俄然有利に。

しかし、その程度のアドバンテージで負けてなるものか！と本気で立ち向かう保護者チーム。これにコートサイドで応援する高学年の子どもたちからは「大人げない！！」と野次が飛びます（笑）。





7 分間の戦いを終えノーサイド。握手をして互いの健闘を称えます。



続いて低学年チームのリベンジ！とばかりに、高学年チームが保護者らに挑みます。



リーグ戦に続き参戦する校長先生は念入りにストレッチ。やる気満々です。



やはり高学年ともなると動きがかなり違います。取られたら取り返す一進一退の攻防が繰り広げられました。



11:00～ エキシビジョンマッチ 1 「SCIX と対戦！」

そしてラストとなる3つ目の挑戦。我らが SCIX ラグビークラブ女子&高木コーチチームに挑みます！

まずは低学年チームが対戦。先ほど同様、低学年チームはツーバウンド以上でも OK の特別ルールが採用されます。



昨年11月に開催された SCIX カップにも出場した SCIX ラグビークラブチーム。随所に「さすが！」なステップや、華麗なパス回しを見せ、周りで観戦する保護者らからも思わず「うまっ！」と声が漏れます。



続く高学年チームとの対戦でも、SCIX ラグビークラブチームが相手を翻弄。



日々トレーニングしている現役選手の力を目の当たりにし、その凄さと同時に、ラグビーの楽しさを感じてくれたのではないかと思います。



全試合終了後は校舎をバックに参加者全員で恒例の記念撮影。みんないい笑顔です♪



11:30～ 会議室にてアフターマッチファンクション

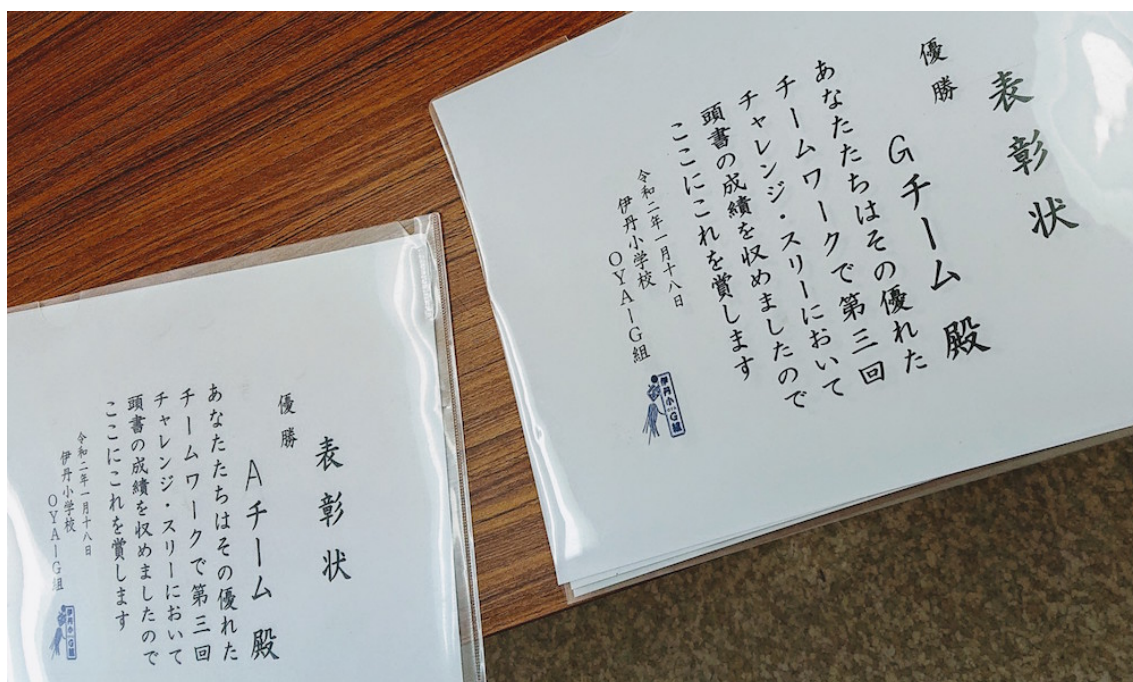
グラウンドから会議室へ移動し、アフターマッチファンクション！

ラグビーでは試合終了後に、対戦チーム同士を称え、懇親を深めるべくアフターマッチファンクションなるものが開かれる風習があることから、それに倣ってこの日も実施されました。



11:45～ 表彰式&ジャンケン大会

ジュースで乾杯をした後、OYA-G 組会長よりスペースボールの優勝チームが発表されました。



低学年はAチーム、高学年はGチームが優勝！勝敗で決着がつかず、得失点率でもつかず、もつれにもつれ込んだ結果だったとのこと。



優勝チームのメンバーには表彰状と、SCIX より神戸製鋼コベルコスティーラーズのミニチュアボールが進呈されました。



さらに、低学年、高学年それぞれより大会 MVP を発表。高木コーチより同じくミニチュアボールが贈られました。

続いて、ラグビーW杯のクリアファイル、神戸製鋼コベルコスティーラーズのマフラータオル、手袋、ネックウォーマーが当たるジャンケン大会。

校長先生や武藤コーチとジャンケンをし、見事勝ち残った人に SCIX からプレゼントを贈呈！ということで、参加者一同躍起になってジャンケンします。



残念ながら何も貰えなかったという方にもニコリ笑って帰ってもらえるよう、参加の子どもたちには SCIX オリジナル T シャツをプレゼント！



最後に、SCIX ラグビークラブメンバーひとりひとりから感想をコメント。「今日の体験をきっかけにラグビーの楽しさを知ってもらえたら嬉しい」「子どもたち以上に親御さんたちが真剣にやってる姿に、審判をしながらこっちまで熱くなったり、楽しかった。ありがとうございました」と述べました。



12:00 閉幕

OYA=G 組・川中さんより「神戸製鋼 7 連覇時代のフランカー」と最後に紹介された武藤コーチの一本締めで閉幕。大人も子どもも口々に「楽しかった～」と言いながら解散となりました。参加してくださった皆様、そして伊丹小学校ならびに OYA=G 組の皆様、どうもありがとうございました！



最後に・・・

神戸市内を飛び出し、初めての他市開催。そして、初めての大人との合同チームによる開催となった今回ですが、いつも以上の盛り上がりを見せたのではないかと思います。これも、タッ

クルなどの危険行為禁止、両手タッチでターンオーバーというスペースボールならではのルール故。ラグビーの面白さを学ぶ第一歩としてはもちろんのこと、子どもや大人の体力づくり、そしてコミュニケーションツールとして、スペースボールを有効活用してはいかがでしょうか？ SCIX では引き続きこのような活動を続けて参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

